



令和2年度「ピザ祭り」実施報告書 ～家族と2種類のピザを作ろう!～

I 事業の概要

1 期日

令和2年11月22日(日)

2 日程



午前		午後	
9:00	受付	14:20	感想記入
9:30	出会いのつどい アイスブレーキング	14:40	別れのつどい
10:00	食材ゲットオリエンテーリング ピザ作り	15:00	解散
11:20	A:ミックスピザ (2枚) B:デザートピザ (2枚)		

3 趣旨

- ・食材ゲットオリエンテーリングを通して、船上山の自然を楽しむ。
- ・トッピングを工夫して、ピザ作りを楽しむ。
- ・ピザ作りをすることで家族の交流を図り、つながりを深める。

4 対象 小中学生とその保護者 12組程度(50名程度)

5 応募者数

内訳

家族数	子ども	大人	合計人数
11組	18	20	38

6 参加費 一組 2400円+保険料(1人150円)



II 実施状況

主催当日、紅葉がピークを迎えた時期に開催することができたので、参加者はピザ作りの前に1時間の食材ゲットオリエンテーリングを行った。地図を片手に、紅葉を楽しみながら船上山周辺を散策し、ピザのトッピングをゲットするために、家族で協力してキーワードを探されていた。すべてのチェックポイントを回るとキーワード『ホップ・ステップ・トッピング!!!』が浮かび上がる。全11組の家族が時間内に自然の家に到着し、見事にプレミアム食材券を手に入れることができた。プレミアム食材券と引き換えにトッピングの具材を交換し、どの家族も笑顔いっぱいだった。

その後、ピザ作りを行った。説明を聞いた後、各家族で役割分担しながらピザ作りを進めていった。ピザ生地作りでは、受付後に粉分け作業をしていたので、すぐに予備発酵に取り掛かることができた。その後もレシピを見ながら、生地をこねたり、めん棒でのばしたりした。トッピング作業では、ピザの具材を切って、各家族思い思いのトッピングを楽しんだ。その後、ダッチオーブンでこんがり焼き上げ、食堂では「おいしそう!」という声や、食べると「おいしい!」という声がたくさん聞こえた。

今年度のピザ祭りは、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、募集人数を昨年度の20組から12組に変更して行った。家族間の交流は残念ながらできなかったが、家族の絆を深めることができた。



Ⅲ 総括

Ⅰ アンケート結果

《参加者の満足度》

事業全体の満足度：満足 11 組

(参加者 11 家族 38 名 家族ごとにアンケート 回収率 100%)

《参加者の感想》(抜粋)

- ・船上山でピザを作るのは 2 回目だけど材料が増えて嬉しかったです。登山の秋を楽しめて良かったです。また行きたいです。(子ども)
- ・コロナ禍の大変な時に楽しい時間を過ごすことができて幸せでした。(大人)
- ・ただピザ作りをするだけではなく、オリエンテーションで食材をゲットするのが楽しかったです。(子ども)

2 成果

- ・食材ゲットオリエンティングは昨年とは違う試みだったが紅葉を楽しんでいただきつつ、3 密を避け、食事前に運動もできて良い活動だった。時間内に回れなかった場合の救済措置もあり、プレミアム食材券というタイムリーかつ子どもの心をくすぐる工夫もあった。何より食材をゲットするという目的をもってオリエンティングができたのは意欲的な活動になって良かった。
- ・募集人数を減らしたり、家族間で使いまわすことがないよう、材料を予め家族ごとに準備したりしてコロナ対策を意識して実施することができた。

3 課題

- ・未就学児が参加できるかどうかチラシでも電子申請サービスでもわかりやすく明確にする必要がある。
- ・計量カップにccとml、g(グラム)表示があり、分かりにくかった。カップに工夫を施すか、事前に注意するよう声掛けをするべきだった。
- ・洗い物をする際、手洗い場が 1 か所しかなかったので密な状況があった。ソーシャルディスタンスをとれるようにマーカーで事前に印をつけたり、密にならないようより声掛けをしたりするべきであった。